

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1－1. 申請団体

団体名	四街道市役所			代表者名	鈴木 陽介
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	経営企画部デジタル推進課	連絡先電話番号	043-421-6163
担当者役職	係長	担当者氏名	綿貫 陽一	連絡先E-mail	
住所	284-8555 千葉県四街道市鹿渡無番地				

1－2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）					
団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1－3. 支援を求める内容			
支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	デジタルリテラシー研修
概要	職員に対するDX推進のための機運醸成（業務改革意識の向上、オンライン手続拡大の意識付け、等）		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 行政手続オンライン化 自治体セキュリティ		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績					
2－1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	664	令和7年10月27日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月24日	講演(実地)	10時00分	15時30分	150
				活動時間（分）	180
2－2. 派遣場所	会場名	四街道市文化センター202号室		最寄駅	JR四街道駅
	所在地	千葉県四街道市大日396		最寄駅からの交通手段	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望	
支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。	
アドバイザー	森本 浩之
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体DXにおける行政サービスDXのポイントと情報セキュリティについての講演をいただいた。ICTの発達と普及により情報の流通が活発化している昨今の社会において、DXを推進していくにあたり、オンライン手続に対応できる人が取り残されるのはよいのかという視点でデジタルデバイドを考えることも重要であることを学んだ。また、DXについての考え方としてシステムを導入することが目的ではないことや今後、市役所業務が減ることが考えにくいなかで利用者中心の行政サービス改革を進める「サービスデザイン思考」を説明頂いたことで、適切なサービス設計とはなにかといった意識を持つことを担当課職員に持ってもらえたと感じる。最後に、DXと裏表ともいえる情報セキュリティについてもご講演いただき実際の事例を紹介していただきながら悪意のあるセキュリティ攻撃の方法や情報資産の管理方法を説明いただいた。全体を通して、全ての職員・部署で必要となる考え方をわかりやすくお話しただけたことで大変有意義な講演になったと感じる。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果			
4－1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	40人
	属性		
	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	40	
4－2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果			
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	・担当が日常の担当業務フロー等の中で自動化を行う等DXを活用した業務効率化ができないか等業務改善の意識を持つこと。 ・DXに繋がるサービスを導入する場合、自治体のセキュリティポリシーに遵守したセキュリティ確保の視点も重要となる。 ・各課業務が多様化し、業務量が増大していることにより、業務の見直しや効率化を行うための方策を練る時間がとれない。 ・システム導入を行えば、課題が解決されるといった考え方で検討を進めている事例がある。→BPRを行うことを前提にDXの推進を行う必要がある。 ・DXを推進するうえで重要なセキュリティリスクを認識する。		
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	外部講師の専門的な知見と実際の事例を通じて、参加者に対しDXに対する認識と重要性を深める効果がある。特に、変化への抵抗感を持つ職員に対してDXの必要性を理解させるきっかけになる。講演内容に実際のDX導入事例が含まれる場合、そこで得られる教訓や実践的な具体例を参加者が自らの部署で応用できる。経験談を活かし、参加者に「やってみたい」「自分も関わりたい」という意欲を醸成することで、全庁的なDX推進に向けたモチベーションを引き上げる効果が期待できる。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	1. デジタル化社会の進展 2. 自治体DXの背景 3. 行政サービスDXのポイント 4. DX時代の情報セキュリティ	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	本研修は各課等において実務に従事している職員がDX推進の必要性を理解し、普段の業務においてもそうした意識を持ってもらうことを目的として実施した。 講義を受けたことで受講者全体のDXに関する意識の底上げを図ることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	具体的な成果物はないが、DX推進に関する職員の意識醸成に繋げることができた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修終了後、参加した職員に対しアンケートを実施する予定	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	参加職員向けアンケートを実施する。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	職員の自治体DXに係る意識改革を図り、自発的に業務効率化や市民の利便性を向上させる取組を推進できる体制を構築するとともに、庁内におけるDXの機運を醸成させる。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。



第1グループ



第2グループ